

算数

課題チャレンジ

小数や分数のたし算のしかたについて考えよう

小学校
第5学年

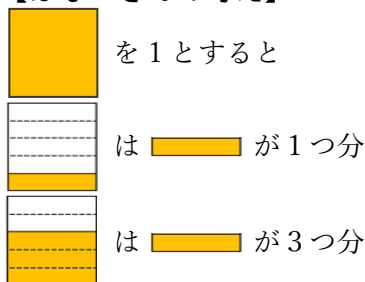


チャレンジ

年 組 番 名 前

1 はなこさんは、 $\frac{1}{5} + \frac{3}{5}$ について次のように考えています。

【はなこさんの考え】



$\frac{1}{5} + \frac{3}{5}$ について、
 のいくつかを考えると、 $1+3=4$ という整数のたし算に表すことができます。
 の4つつなので、
 答えは、 $\frac{4}{5}$ です。

【はなこさんの考え】の中の、1つ分の大きさの は、どれも同じ大きさで、次のように説明することができます。

1つ分の大きさの は、 を表しています。

に入る数を答えましょう。(答)

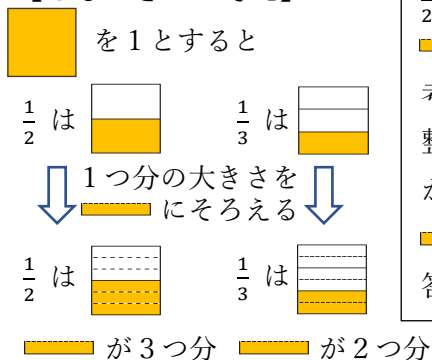
※裏に答えがあります。答え合わせをしましょう。

正解の人は **2** へ進み、不正解の人は、裏の **ステップ1** で確かめましょう。



2 次に はなこさんは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ のように分母の大きさがちがう場合のたし算について考えています。

【はなこさんの考え】



$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ について、
 のいくつかを考えると、 $3+2=5$ という整数のたし算に表すことができます。
 の5つつなので、
 答えは、 $\frac{5}{6}$ です。

【はなこさんの考え】の中の、1つ分の大きさの は、どれも同じ大きさで、次のように説明することができます。

1つ分の大きさの は、 を表しています。

に入る数を答えましょう。

(答)

※裏に答えがあります。答え合わせをしましょう。

正解の人は **3** へ進み、不正解の人は、裏の **ステップ2** で確かめましょう。



3 はなこさんは **1**, **2** で考えたことをもとに、小数のたし算でも同じように考えると、整数のたし算にして考えることができたことを $3.65 + 4.21$ の計算を例にして説明しました。

【はなこさんの説明】

たとえば、 $3.65 + 4.21$ だったら、 0.01 のいくつかを考えると、 3.65 は、 0.01 が 365 こ分

(答)

はなこさんは、小数のたし算を整数のたし算で考えるために、1つ分の大きさを 0.01 として考えています。

【はなこさんの説明】の続きを答えましょう。



※裏に答えがあります。答え合わせをしましょう。

正解の人も、不正解の人も、裏の **ステップ3** で確かめましょう。


まとめ 小数、分数のどちらのたし算も、もとにする大きさのいくつかとみることで、整数のたし算として、考えることができます。

1 の答え

(答) $\frac{1}{5}$

→正解の人は表の2へ進み、
不正解の人は下のステップ1で確かめましょう。

ステップ1

は、を5つに分けた
1つ分なので、 $\frac{1}{5}$ です。

□分数のたし算は、もとにする分数のいくつ分かを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。




2 の答え

(答) $\frac{1}{6}$

→正解の人は表の3へ進み、
不正解の人は下のステップ2で確かめましょう。

ステップ2

は、を6つに分けた
1つ分なので、 $\frac{1}{6}$ です。

□分数のたし算は、もとにする分数のいくつ分かを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。

□分母のちがう分数のたし算は、通分すると、もとにする分数が等しくなります。



3 の答え

(答) 例 4.21 は、0.01 が 421 こ分だから、
365+421=786 で、
0.01 が 786 こ分になります。
だから、3.65+4.21=7.86 です。

→正解の人も、不正解の人も
下のステップ3で確かめましょう。

ステップ3

はなこさんは、
「3.65 は、0.01 が 365 こ分、
4.21 は、0.01 が 421 こ分」と考えて
いるので、0.01 のいくつ分で考えて
います。

□小数のたし算は、0.01 のいくつ分かを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。

【問題に挑戦してみよう！】



5.21 と 0.7 は、それぞれ 0.01 を
何個集めた数になりますか。
□に入る数を書きましょう。

5.21 + 0.7
↓ ↓
□ 個 □ 個

